

政策シート

(政策名) はままつ流の多様な暮らしに対応した「安全・安心・快適」な交通を目指して
(予算費目名) 交通政策推進費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 市民が集う活力ある都市づくり

◇政策の概要

地域特性に対応し、過度に自動車に依存しない、公共交通を基軸とした交通行動への転換を図るための交通施策を複合的に実施することにより、安全・安心で快適に移動することができる都市づくりを進める。
このため、以下の交通施策に取り組む。

- 交通計画推進事業
都市交通に関する計画の策定及び事業の実施により円滑で利便性の高い交通サービスを提供する。
- 公共交通推進事業
使いやすい公共交通ネットワークの構築を図り、市民生活に必要な移動サービスを提供する。
- 天竜浜名湖鉄道経営支援事業
沿線住民の生活基盤となっている本鉄道を存続し、安定したサービスを提供するため、経営支援を行う。

◇政策のコスト (千円)

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	868,863
	決算	
	事業費 (A)	771,563
	人件費 (B)	97,300
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標 (単位)	単位	H36 目標値	年度	H27
公共交通機関利用者数	万人	5,802	目標	5,082
			実績	
主要な駅、バス停の利用者数の対平成22年度比	%	103.0	目標	102.7
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	交通計画推進事業		○		74,494	39,494	5.0				
2	公共交通推進事業	○	○		296,787	261,787	5.0				
3	天竜浜名湖鉄道経営支援事業				472,483	466,183	0.9				
4	交通政策推進運営経費(一般諸経費のみ)				25,099	4,099	3.0				
計					868,863	771,563	13.9	0.0	0.0	0.0	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 交通計画推進事業

◇事業目的・事業対象

本市の都市交通に関する調査、協議及び各種交通計画を策定するとともに、計画に基づく事業の実施により円滑で利便性の高い交通サービスを提供する。

◇事業の概要

●浜松21世紀都市交通会議等運営事業

・浜松21世紀都市交通会議にて総合交通計画の進捗管理を行うとともに、地域公共交通会議にて地域バスの実証運行や改善運行について検討を行う。

●総合交通計画推進事業

・浜松市総合交通計画に位置付けている交通施策の調整を行う。
 ・同計画増補版に位置付けた「交通ネットワーク検証エリア」について交通状況の維持に係る検討調査を行う。
 ・浜松駅周辺改良基本構想に基づき、浜松駅南口の交通の整流化に向けた関係者協議を行うとともに、市道砂山菅原線、砂山17号線の改良に向けた詳細設計を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
平成13年度	-	一般会計	自治事務(その他)	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律	-	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	39,494
	決算	
	国・県支出	12,000
	市債	8,800
	その他	
	一般財源	18,694
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		35,000
人工	正規	5.0
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
公共交通機関利用者数(万人)		5,802			5,802

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 公共交通推進事業

◇事業目的・事業対象

地球環境問題、高齢化社会、交通渋滞の課題に対応するため、使いやすい公共交通ネットワークの構築を図り、市民生活に必要な移動サービスを提供する。

◇事業の概要

【やります！リスト No.84】

- 身近な公共交通である路線バスを、補助や委託をすることにより維持する。
- ・主に地域の幹線となるバス路線に対して、国、県等と協調して補助金を交付する。(3路線)
- ・地域生活に必要なバス路線を自主運行バスとして運行する(6路線)
- 鉄道事業者の行う駅のバリアフリー化施設整備事業に対して補助金を交付する。
- 総合交通計画に基づき、市民生活に必要なバス路線を新たに、または、現在あるバス路線を改善して、地域の実情に合った運行形態とするため、実証運行を行う。
- ・地域バスの路線の実証運行を継続する(実証後の改善運行10地域、実証運行1地域)
- 過疎地有償運送を実施している団体に対して補助することにより、過疎地域での移動手段を確保する。
- ・過疎地有償運送の欠損金に対して補助金を交付する(1団体)
- ・車両取得事業、設備更新事業の一部に補助金を交付する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
平成13年度	—	一般会計	自治事務(その他)	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律、道路運送法	○	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	261,787
	決算	
	国・県支出	707
	市債	
	その他	68,919
	一般財源	192,161
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		35,000
人工	正規	5.0
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
主要な駅、バス停の利用者数の対平成22年度比(%)	84	102.7		103.0	103.0

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

【重点戦略項目No.84】

- 平成27年度は、不採算路線であり、市単独補助路線である阿多古線について担当課である天竜区と共に路線の見直し等を行い事業費の軽減に取り組む。
- 平成27年度は、平成26年度からの繰越工事である遠州鉄道遠州病院前駅のバリアフリー化工事に対して、補助金を交付する。また、遠州鉄道が他駅のバリアフリー化事業を検討していることから、市としても事業推進に向けて情報を共有する。
- 平成26年度は、11地域で運行している地域バスについて事業評価を行うと共に、4地域において利用実態に即した形への改善運行を行った。平成27年10月より新規路線として「上すがりふれあいバス」の実証運行に着手する。
- 平成26年度は、過疎地有償運送の運行事業者に対して欠損金の一部に補助金を交付し、継続的な事業となるように支援した。平成27年4月1日より「過疎地有償運送」が「公共交通空白地有償運送」となったため、新たな実施団体の掘り起こしも進めていく。

補助シート (事業名) 公共交通推進事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
	▶			
84	総合交通計画に基づき、バス路線の新設または改善	総合交通計画に基づき、バス路線の新設または改善	総合交通計画に基づき、バス路線の新設または改善	総合交通計画に基づき、バス路線の新設または改善

事業シート (事業名) 天竜浜名湖鉄道経営支援事業

◇事業目的・事業対象

沿線住民の生活基盤となっている天竜浜名湖鉄道を存続し、安定した沿線住民へのサービスを提供するために経営支援を行う。

◇事業の概要

●経営助成事業(補助金)

・天竜浜名湖鉄道株式会社の経営安定化を図るとともに、安全な列車運行のため必要な施設整備に対する助成を行う。

・平成25年度に天竜浜名湖鉄道(株)が策定した中期経営計画に基づき支援を行うもの。

※中期経営計画:平成26～30年度における、経営助成及び施設整備費の計画

・負担率は「県:1/2 沿線市町1/2」

●天竜浜名湖鉄道経営助成基金積立金

・天竜浜名湖鉄道経営支援を行うために必要な資金を、県補助金・沿線市町負担金として集め、基金に積み立てる。

・浜松市天竜浜名湖鉄道経営助成基金。

・一旦基金として積み立て、これを取り崩して経営助成事業に充てる。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市天竜浜名湖鉄道経営助成基金に関する条例	-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	466,183
	決算	
	国・県支出	105,700
	市債	
	その他	301,798
	一般財源	58,685
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		6,300
人工	正規	0.9
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
経常損益を0円とする。		0			-

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 交通政策推進運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	4,099
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	4,099
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	21,000
人工	正規	3.0
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) はままつ流の多様な暮らしに対応した「安全・安心・快適」な交通を目指して
(予算費目名) 駐車場事業特別会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 市民が集う活力ある都市づくり

◇政策の概要

地域特性に対応し、過度に自動車に依存しない、公共交通を基軸とした交通行動への転換を図るための交通施策を複合的に実施することにより、安全・安心で快適に移動することができる都市づくりを進める。
このため、市営5駐車場を供用することにより、中心市街地において発生する交通渋滞及び違法駐車を抑制し、中心市街地の機能の向上とよりよい交通環境の形成を図る。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	523,452
	決算	
	事業費 (A)	516,452
	人件費 (B)	7,000
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
廃止・売却する駐車場	箇所	4	目標	0
			実績	0
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	駐車場事業				523,452	516,452	1.0				
計					523,452	516,452	1.0	0.0	0.0	0.0	0

※人工単価（千円） 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 駐車場事業

◇事業目的・事業対象

中心市街地において発生する交通渋滞及び違法駐車を抑制し、中心市街地の機能の向上とよりよい交通環境の形成を図る。

◇事業の概要

- 市営5駐車場(新川北・新川南・駅北・駅南地下・ザザシティ)の維持管理を指定管理者制度(利用料金制)により行う。
- 施設の機能を維持するため、新川南駐車場外壁フェンス等改修工事外を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和39年	平成34年度	特別会計	自治事務(その他)		-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	516,452
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	16
	一般財源	314,339
	一般会計繰入金	202,097
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		7,000
人工	正規	1.0
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標(単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
廃止・売却する駐車場(箇所)		0			4

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

行財政改革の取り組み (事業名) 駐車場事業

◇取組概要

市が駐車場事業から撤退することを目標として、ザザシティ駐車場建設事業債の償還が完了する平成34年度を目途に、市営駐車場を廃止・売却していく。ただし、駅南地下駐車場については浜松駅送迎機能を有するため、平成34年度以降も経営を継続する。

◇行財政改革の視点 5 事務事業の見直し

◇行財政改革の進行管理 (行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する□にチェック)

- 行政経営計画 取組番号 _____
取組事項名 _____
- 個別計画等 計画名等 _____

政策・事業シート (以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標 (単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
廃止・売却する駐車場(箇所)	計画値	0	0	0	0	(H36) 4
	実績値					
	計画値					
	実績値					
	計画値					
	実績値					
効果額 (千円)		0	0	0	0	0

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 ▶